脳卒中医療体制に関するアンケート

平成 27 年 6 月

秋田大学大学院医学系研究科　地域医療政策学講座

平成 27 年 2 月「脳卒中医療体制に関するアンケート」を実施致しました。ご協力頂きました関係機関の皆様には感謝申し上げます。今回、結果の一部について報告いたします。

本調査は、平成 26 年度 DPC 対象病院のうち超急性期加算、もしくは脳卒中地域連携加算を申請している病院 1128 施設から無作為抽出により 500 施設を対象に無記名アンケート調査を平成 27 年 2 月に実施したものである。回収率 43.6%

結　果

（Ａ）回答施設の基本属性など

表１．回答施設の所在地　(n=202)

北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
4.5%	6.9%	17.3%	18.8%	21.8%	11.4%	5.4%	13.9%

表2. 回答施設の経営母体　(n=201)

特定機能病院	国立系	自治体病院	公的病院	その他
10.4%	10.0%	22.4%	18.4%	38.8%

表 3. 回答施設の経営母体　(n=202)

200 未満	200-399	400-599	600-799	800-999	1000 床以上
14.4%	38.6%	30.7%	10.9%	2.5%	3.0%

（Ｂ）脳卒中地域連携パスに関する項目（地域連携パスを実施している病院の回答について集計）

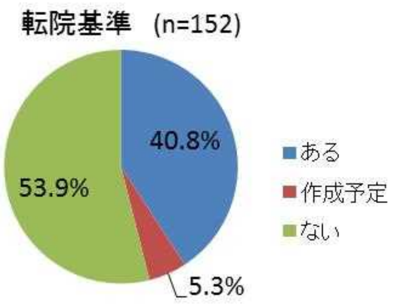
１．連携パス運営状況（H26.1 月～12 月）

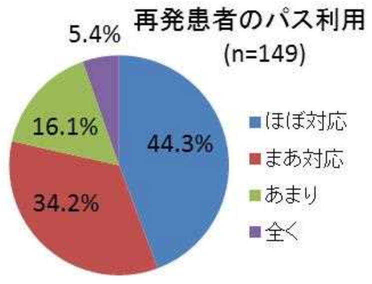
＊連携パス実施率は連携パス利用患者数／脳卒中入院患者数により求めた

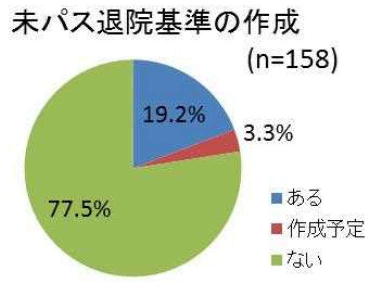
項目	**連携施設数** (n=143)	**連携パス利用者数** (n=141)	**連携パス実施率** (n=133)	**連携パス平均在院日数** (n=131)
中央値	8	66.0	25.1	29.6
四分位範囲	15	98	23.2	19.2

２．転院基準の作成・再発患者への適用について

転院基準については、4 割があると回答した。脳卒中再発患者に対しても多くの病院がパスで対応できると回答した。一方で、パスを利用していない脳卒中患者の退院基準については、あると回答したのは、2 割程度であった。

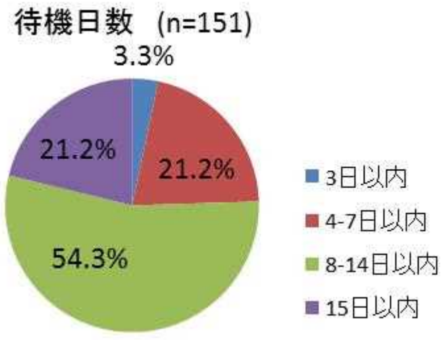


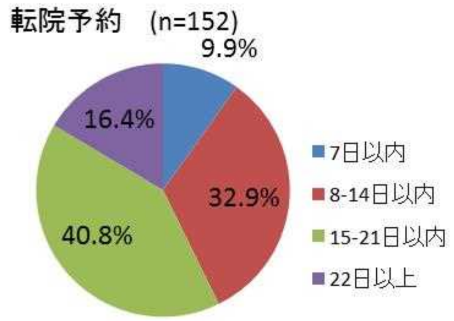




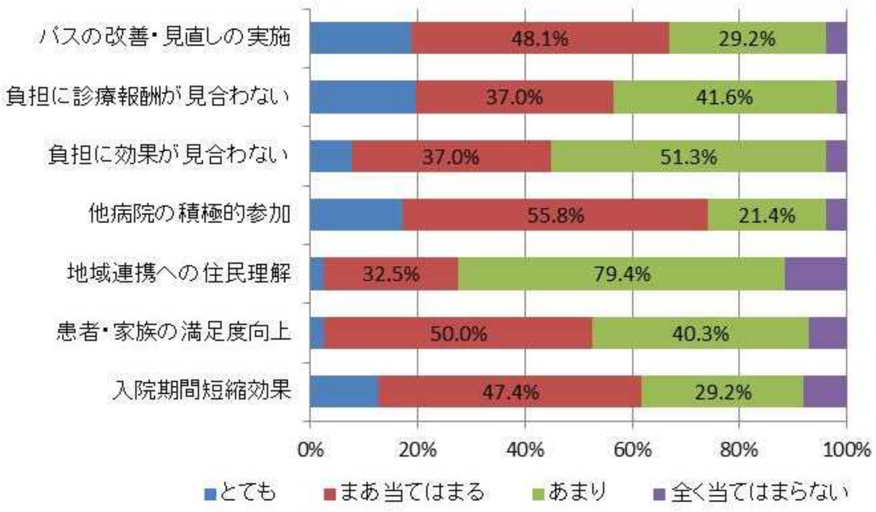
３．回復期病院への転院時における待機日数・転院予約時期

待機日数については、8-14 日以内が最も多く 5 割を超えていた。また転院予約をする時期は、急性病院入院後 15-21 日以内という回答が多かった。





４．連携パスに対する印象・効果（N=154）



地域連携に関する印象や効果では、入院期間短縮の効果については肯定的な意見が多く、パスの改善や見直しを実施していると回答した病院の割合は多かった。一方で、地域連携に関する住民理解については、否定的な意見が多かった。

（C）rt-PA 治療に関する項目

脳卒中の急性期病院(有効回答 n=201)の中で 91.5%の施設が rt-PA 治療を実施していると回答した。また、rt-PA 治療に従事する常勤医師数(有効回答 n=183)は、中央値 4.0、四分位範囲 3 であった。平成 26 年における rt-PA 実施件数(有効回答 n=163)は、中央値 8.0 四分位範囲 13 という結果であった。